

雲外蒼天

第5号

題字・高木 飛翔 一般社団法人トップスターユニオン会報/令和7年12月1日発行

TOP STAR UNION



TSUの皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。高木理事長は日本体育大学相撲部の二学年先輩にあたり、相撲のことのみならず組織運営や管理業務などたくさんのこと学ばせていただいております。なかでも競技人口の減少が取り沙汰される昨今、“新しい相撲のかたち”として活動を展開されているTSUの取り組みには感銘を受けております。私は現在、第七十五代横綱・大の里関の母校である新潟県立海洋高校で相撲部のコーチとして指導に携わっております。大の里関とは日体大相撲部の同期であります。私の競技生活を振り返ると、六歳から相撲を始め今まで大きな成績と言えるものは大学四年次の全国学生相撲個人体重別選手権大会での優勝のみです。しかし、日体大では、大の里関をはじめ、大相撲などで活躍する多くの仲間と過ごし、一つの目標に歩むことができたのは私の人生においての財産です。横綱の座右の銘である「信は力なり」。自分を信じ、仲間を信頼することで困難を乗り越え、目標を達成する原動力にしてください。末筆ながらTSUのさらなるご発展と、皆様のご健勝ならびにご多幸を心よりお祈り申し上げます。



新潟県相撲連盟

寺尾 拓真

信は力なり

TSU後援会稽古総見



六月十五日栃木県・陽南第一公園において、令和七年度TSU後援会稽古総見を開催した。日頃より御支援、御声援くださる後援会員の皆様に選手の技量や練習の成果を検分いただく機会として実施している。

練習では後援会でお世話になっている日本相撲協会鳴戸部屋の鳴戸親方をお招きし、基礎練習から技術指導まで丁寧に御指導いただいた。後援会の皆様へ結果で恩返しができるよう感謝の気持ちを忘れず精進する。

クラブ運営事業

相撲による地域社会への貢献と、選手の育成、人間形成を目指し相撲クラブを運営している。今年度は熱中症や落雷事故など、昨今の環境変化に対応する安全管理体制の見直しを行った。練習中の事故や怪我に対応する安全管理マニュアルを作成し指導者間で共有するとともに、公式サイトに専用ページ「相撲安全管理ナビ」を開設し、マンガを活用したガイドブックや安全対策に係る情報を広く周知し事故防止に努めていく。

TSU宇都宮相撲道場主将

石川 孔雅

TSU大田原相撲道場主将

大倉 正力

一年間主将を務めてきて、あまりみんなをまとめる事ができず、怪我をして試合に出れないなど主将らしいことが出来なかつたなと思っていました。中学生になってからは、失敗を活かして行動をしていきたいです。

今年はあまり勝つ事ができず、身体も上手く動かず悩むことも多かったです。四月からは中学生になるので、自分に自信を持てるよう家でも練習をしっかり行い、最後の全中に出られるように頑張りたいです。

今年一年、仲間とともに、稽古や大会に全力で取り組み、時には勝った喜びも味わい、時には悔しい思いをした日もあり、何度も心が折れそうになりました。そのたびに、普段から稽古している仲間たちと励まし合い乗り越えてきました。また先生方の熱心なご指導、保護者の皆さんのお陰で強くなることができていることに感謝します。来年は悔しさを力に変え、仲間と全力で勝利を目指し、笑顔と元気で相撲を楽しみます。



わんぱく相撲開催協力

大会開催事業としてわんぱく相撲の地区予選の開催に協力した。なすのがはら場所では、実行委員会として事前準備から協力をし、今年度から女子の部の新設も行つた。うつのみや場所においても、実行委員会として準備に携わり、広報やまわしの巻き方の指導を行つたほか、当日は審判協力やちゃんこの振る舞いなどを行つた。ちゃんこの振る舞いは好評で三百食分のちゃんこをすべて配布し会場を盛り上げることができた。



中学校体育相撲授業普及活動

公益財団法人日本相撲連盟が進める中学校体育での相撲授業普及活動をTSUでも、推進している。これまで栃木県内では、中学校授業の実態調査やパンフレットの配布を行つてきた。青森県では、公立中学校において八時間の相撲授業を実施した。日本の伝統文化に触れ、武道の本質である「心技体」を磨く貴重な時間となつた。今後も、学校教育における相撲指導の在り方を追求し、相撲の面白さを肌で感じれる機会を設けていく。



国際親善交流・相撲文化普及活動

九月十三日～十四日バンコク・ランシット大学において、アジア相撲選手権大会と世界相撲選手権大会が開催された。これにあわせ栃木県の武道ツーリズム受入態勢整備事業の一環として、相撲文化の普及と栃木県内への合宿誘致、観光誘致活動を実施した。

また、タイの文化に触れる異文化交流を実施しTSUと世界を繋ぐ新たなネットワークの構築を行つた。相撲を国内だけでなく世界に広める活動を今後も展開していく。



TSUトレーニングキャンプ2025

Phase. 1

運動能力測定・メンタルトレーニング講習会



七月十一日栃木県・国際医療福祉大学においてTSUトレーニングキャンプ2025 Phase. 1を開催した。TSUトレーニングキャンプでは全国大会等で活躍が期待できる選手に、様々な能力開発プログラムを通じて未来のTEAM TSU代表選手を育成する。今年度第一回目となる今回は運動能力測定会と保護者を対象としたメンタルトレーニング講習会を実施した。今年度より、国際医療福祉大学と連携協定を結び、相撲に関する共同研究を行っている。

保護者を対象としたメンタルトレーニング講習会では、作新学院大学教授でスポーツメンタルトレーナーの笠原彰氏に、「相撲式保護者のためのジュニアアスリートとの接し方」について講義をしていただいた。ジュニアアスリート育成において保護者の意識、考え方は重要な要素であることを再認識した。

Phase. 2

大相撲春日野部屋宇都宮合宿



八月十六日～十七日栃木県・県総合運動公園においてTSUトレーニングキャンプ2025 Phase. 2を開催した。今年度二回目は日本相撲協会春日野部屋の協力のもと宇都宮合宿を実施した。栃木県出身の第二十七代横綱栃木山守也氏が興した大相撲春日野部屋は古くより栃木県とゆかりのある相撲部屋であり、力士の多くに「栃」の名前が入る。春より春日野部屋栃木後援会とTSU、栃木県スポーツコミッショナリーより春日野部屋合宿の誘致に向け準備を進め、六日間にわたる春日野部屋宇都宮合宿が開催された。

元関脇栃煌山の清見鴻親方、元関脇碧山の岩友親方をはじめ十両の栃大海関などに胸を貰していただいたほか、トレーニング指導をいただくなど貴重な経験となつた。今後も大相撲や各県選抜チームの合宿の誘致を行い、宇都宮を合宿の聖地として発信していきたい。

Phase. 3

専門技術トレーニング・指導者養成講習会



十月十一日～十三日栃木県・陽南第一公園においてTSUトレーニングキャンプ2025 Phase. 3を開催した。今年度三回目は、全国各地で活躍するTSUの指導者が集結し、専門技術トレーニングを二日間にわたり実施した。また、TSUで選手に関わる指導者を対象に指導者養成講習会を開催した。

今年の世界相撲選手権で日本代表として軽量級アジアチャンピオン、世界3位となつた奥谷理事から大会出場報告が行われた。菊池理事、松園理事も日本代表経験がある選手であり、トップレベルの指導に選手も真剣な表情で臨んだ。選手は細かい技術や疑問に感じたことを積極的に質問し、意欲的な姿が印象的であった。終了後は全員でちやんこを囲み、選手や保護者との親睦を深めた。

指導者養成講習会では、松園理事が安全管理や効果的なトレーニングの実践などについて講話を行った。また、集まった指導者が各地での活動や指導法を報告しあい情報交換を行つた。

Phase. 4

草津温泉合同強化合宿



十一月一日～二日群馬県・草津相撲研修道場においてTSUトレーニングキャンプ2025 Phase. 4を開催した。今年度四回目は日本相撲協会の協力のもと草津温泉合同強化合宿を実施した。昨年に引き続いて実施となつた今年の草津合宿では、TSU選抜選手のほか、新潟県、長野県、群馬県の代表選手が参加し総勢三十名が共に汗を流した。保護者のもとを離れ、自分と向き合いながら、普段とは違う相手、違う指導者の指導により、新鮮な気持ちで練習に取り組むことができた。練習内容は非常に厳しいものであったが、二日間にわたり最後までしっかりと相撲を取りきることができた。

また、練習後には他県の選手とグループを作り自由行動で草津温泉を散策したほか、寝食をともにし、新たな仲間を増やすことができた。大盛りの「飯」も全員で協力し、残さず食べきることができた。それぞれが目標に向かい自分を高める貴重な合宿となつた。

TEAM TSU代表選手強化練習

TEAM TSUは、練習への取り組みや運動能力測定結果、大会実績を基に選抜された選手で構成される。今年度は、試験的に週二回のアシリティートレーニング、週末は相撲部屋や大学への遠征を実施した。

全国大会での活躍に向け大きな成果が得られたことから、次年度以降も選考基準をより明確にし、より専門的なトレーニングや遠征を継続的に実施していく。



チームとちぎジュニア認定証

九月七日栃木県・県総合文化センターにおいて令和七年度チームとちぎジュニア認定証授与式が開催された。これは今後の活躍が期待される小中学生を「チームとちぎジュニア選手」として認定するものである。今年度はTSUから四名の選手が認定された。

【チームとちぎジュニア認定選手】

割谷 純虎 (TSU宇都宮 中学三年生)
割谷 蒼司 (TSU宇都宮 中学二年生)
楠田 良太郎 (TSU宇都宮 中学一年生)
石川 孔雅 (TSU宇都宮 小学六年生)



鳴戸部屋

NARUTOBEYA <https://naruto-beya.com/>

大会報告

都道府県中学生相撲大会栃木県予選会
六月二十一日栃木県・県総合運動公園相撲場において第三十六回全国都道府県中学相撲選手権大会が開催された。TSU宇都宮相撲道場から五名の選手が出場した。今年度の栃木県の中学生はレベルが高く、熱戦が繰り広げられた。割谷純虎選手が無差別級で準優勝、割谷蒼司選手が軽量級で優勝し全国都道府県中学生相撲選手権大会の出場権を獲得することができた。



栃木県少年相撲選手権大会

七月五日栃木県・県総合運動公園相撲場において第四十五回栃木県少年相撲選手権大会が開催された。TSU宇都宮相撲道場とTSU大田原相撲道場から十九名の選手が出場した。団体戦ではTSU宇都宮相撲道場が五勝十五点と全チームに対し全勝する完全試合で二年連続二回目の優勝を果たした。つづく個人戦では、優勝者はすべて全勝で優勝を果たし、四位までに入賞した選手は関東小学生相撲優勝大会・関東女子相撲選手権大会の出場権を獲得した。

大会成績
団体戦の部

優勝 TSU宇都宮 (二年連続二回目)
準優勝 TSU大田原

一・二年生の部

優勝 謙合 泰地 (TSU大田原)
準優勝 藤田 竜誠 (TSU大田原)

第三位 市川 大登 (TSU宇都宮)
三・四年生の部

優勝 野口 耀 (TSU宇都宮)
準優勝 藤田 竜太郎 (TSU大田原)

第四位 増子 一芯 (TSU宇都宮)
三・四年生の女子部

優勝 楠田 咲良 (TSU宇都宮)
準優勝 渡辺 こころ (TSUとちぎ)

五年生の部

優勝 一宮 悠季 (TSU宇都宮)
第四位 磯尾 栄介 (TSU大田原)
五年生女子の部

優勝 沖口 薫 (TSU大田原)

六年生の部

優勝 石川 孔雅 (TSU宇都宮)

第三位 齋藤 裕二 (TSU宇都宮)

六年生女子の部

優勝 小泉 知歩 (TSU大田原)

準優勝 戸村 華姫 (TSU大田原)

栃木県中学校相撲選手権大会

七月二十四日栃木県・美原公園相撲場において令和七年度栃木県中学校相撲選手権大会が行われた。TSU宇都宮相撲道場から六名の選手が出場した。団体戦は十三チームによる予選リーグを通過し決勝リーグへ進出した。二勝七点で惜しくも準優勝という結果に終わった。団体戦での全中出場は逃したものの、個人戦で割谷純虎選手が準優勝となり全中出場を決めた。県大会団体優勝まであと一歩及ばず悔し涙を流した。

大会成績
団体戦の部

準優勝 TSU宇都宮相撲道場

個人戦の部



全国都道府県相撲選手権大会

八月三日大阪府・堺市大浜公園相撲場に

おいて第三十六回全国都道府県中学生相撲選手権大会が行われた。TSUから二名の選手が栃木県代表として出場した。団体戦では、割谷純虎選手が活躍し、栃木県として七年ぶりの三位入賞を果たした。個人戦では団体予選で二勝以上した選手が出場できる無差別級で割谷純虎選手がベスト十六、軽量級で割谷蒼司選手がベスト八と健闘した。

大会成績

団体戦(栃木県選抜)

予選一回戦	対滋賀県	三対〇	勝利
予選二回戦	対北海道	三対〇	勝利
予選三回戦	対静岡県	二対一	勝利
一回戦	対埼玉県	二対一	勝利
準々決勝戦	対鹿児島県	二対一	勝利
一回戦	対東京都	二対二	敗退

個人戦無差別級

準決勝戦 対東京都

個人戦軽量級

割谷 純虎 ベスト十六

割谷 蒼司 ベスト八

TEAM TSU

全国都道府県に出場して

割谷 純虎

僕は、八月三日に全国都道府県中学生相撲選手権大会に出場しました。団体戦では、チームの大将として出場し、緊張しましたが予選で三勝し、個人戦の権利と団体決勝トーナメントへ進出しました。個人戦はベスト十六でした。団体戦決勝トーナメントは一回戦・準々決勝とともに一対一で回ってきて勝利し、七年ぶりの全国三位に入賞できました。高校でも相撲を続け全国優勝したいです。



関東中学校相撲大会

八月九日群馬県・桐生市相撲場において第四十九回関東中学校相撲大会が行われた。TSU宇都宮相撲道場から三名の選手が出場した。団体戦は優勝を目指していたが準決勝戦で敗退し三位となつた。個人戦でも入賞まであと一步という悔しい結果となつた。関東大会での入賞は選手の自信となつた。

大会成績

団体戦の部

第三位 TSU宇都宮相撲道場 第三位

個人戦の部

ベスト八 割谷 純虎 (TSU宇都宮)



中部日本選抜中学生相撲大会

八月十日長野県・木曽町相撲場において第四十七回中部日本選抜中学生相撲大会が行われた。TSU宇都宮相撲道場から四名TSUとちぎエリアから一名の選手が出場した。団体戦個人戦ともに強豪相手の厳しい対戦が続き、悔しい結果となつた。

大会成績

団体戦の部

ベスト八 TSU宇都宮相撲道場

個人戦の部

ベスト八 関 心越 (TSU宇都宮)



わんぱく相撲全国大会

八月十日東京都・ひがしんアリーナにおいて第四十回わんぱく相撲全国大会が行われた。全国各地で行われた予選を勝ち抜いた総勢三百十一名の選手が出場した。TSUからは、二名の選手が県予選を勝ち抜き、全国大会出場の切符を獲得した。本戦においては、五年生の部において一宮選手がベスト十六であつた。今後の更なる活躍に期待がしたい。

出場選手

五年生の部 一宮 悠季 (TSU宇都宮)

六年生の部 石川 孔雅 (TSU宇都宮)



全国中学校相撲選手権大会

八月二十日～二十一日熊本県・ecowin

アリーナ宇土において第五十五回全国中学校体育大会が行われた。個人戦の部に割谷純虎選手が出席し予選リーグを二勝で通過したが、決勝トーナメントでは一回戦敗退と悔しい結果になつたが、相撲を始めて二年で全中の大舞台で活躍できたことは、本人の自信となつた。

大会成績

個人戦決勝トーナメント一回戦敗退

割谷 純虎 (TSU宇都宮)

関東小学生相撲優勝大会
関東女子相撲選手権大会

八月三十一日茨城県・霞ヶ浦総合公園相

撲場において第二十八回関東小学生相撲優勝大会及び第三回関東女子相撲選手権大会が開催された。TSU宇都宮相撲道場とTSU大田原相撲道場から十二名の選手が出席した。結果は入賞にはあと一歩及ばなかつた。この大会の男子入賞者は全日本小学生相撲優勝大会の出場権が得られるため、目標の一つとして挑む選手も多数いたがJOC

本戦出場を果たすことはできず悔しい思いをした。来年こそ本戦出場を果たしたい。

わんぱく女子相撲全国大会

九月二十一日青森県・八戸市体育館において第六回わんぱく相撲女子全国大会が行われた。TSUからは、二名の選手が県予選を勝ち抜き全国大会へ出場した。それぞれの目標に向かい、良い相撲をとることができた。入賞はできなかつたが、今大会の悔しさを忘れずに稽古に精進したい。

出場選手

五年生の部 沖口 琢 (TSU大田原)
六年生の部 小泉 知歩 (TSU大田原)

ホームページ : QRコードを読み取りください。
お問い合わせ先 : kise.yokozuna72@gmail.com

全国少年相撲選手権大会

十一月八日東京都・アリーナ立川立飛において第二十二回全国少年相撲選手権大会が開催された。TSUの年間最大目標に設定しており、クラブ日本一を決める重要な大会である。今年度、重点的に実施した競技力向上事業の総決算として挑んだ。結果としてはTSU宇都宮相撲道場がベスト八と過去最高の成績ではあったものの、入賞まであと一つ届かなかつた。大変悔しい結果ではあるが、ベスト八はTSU競技力向上基本計画では目標通りで、着実に力をつけており創部三年目にして優勝も射程圏内となつた。この大会での優勝を目指し来年も努力したい。



〒329-2735 栃木県那須塩原市太夫塚2丁目 229-5
TEL:0287-48-7211 FAX:0287-48-7211

一般建築・リフォーム施工

将

〒320-0061

栃木県宇都宮市宝木町 1-80-7

TEL 090-1610-9646

FAX 028-616-2165

建

将建
SHOKEN

とちぎ未来アスリートプロジェクト

七月十九日栃木県・県総合運動公園相撲場で栃木県主催とちぎ未来アスリートプロジェクト競技体験プログラム相撲競技が開催され、講師派遣と運営協力を行った。

とちぎ未来アスリートプロジェクトは、栃木県の小学生の中から優れた才能を持つ児童を発掘、能力を育成し、その能力を最大限発揮できるスポーツを見つけることで、未来のトップアスリートを輩出することを目指す栃木県の事業である。相撲の競技体験は、初の実施であり、講師を派遣し魅力を伝えた。



TSU相撲スクール2025あおもり



十一月三日青森県・県武道館相撲場において、TSU相撲スクール2025. in あおもりを開催した。これまで栃木県で実施してきたが、県外では初となる青森県での開催となつた。初心者が基本動作から実践形式の取組を通じ、土俵での攻防の感覚を楽しんだ。

開催にあたり会場準備や受付、ドリンクの配布など当日の運営補助を地元の相撲クラブに御協力いただき、TSUと地域が一体となり開催が実現した。子ども達の相撲を始める第一歩となる貴重な機会を提供できるよう今後も全国各地でこの活動を広げる。

ナルミヤスポーツ

〒324-0056

大田原市中央 2-16-15

TEL 0287-23-6668

保護者会より

TSU宇都宮相撲道場保護者会長

石川 将志

日頃、子ども達の為に支援、サポートしてくださっている方々、そして保護者の皆様、たくさんのご協力を頂き感謝申し上げます。約一年間会長を務めさせて頂き、より良いチーム作りに貢献出来たらと微力ながらお手伝いさせて頂きました。

今年度は大相撲宇都宮巡業への参加、鳴戸親方からの特別指導、その他トレーニングキャンプ等たくさんの方々の貴重な練習の機会を設けて頂き、子ども達も普段と違う雰囲気の中で練習する事が出来、刺激になった事だと思います。その経験は着実に力になつており、試合をする度に成績を伸ばしている子も多く、監督を始めTSUの指導者の方々、関係者の皆様には感謝しかありません。

子ども達は様々な思いを胸に練習に取り組んでいる事だと思います。その思いを受け止めながら、相撲を通して成長して行く姿をこれからも見守りつつサポートをしていきたいと思います。

これから発展に期待をし、保護者として出来る事を支援しながら子ども達が集中できる環境を整えて行けたらと思います。



一般廃棄物処理業・し尿及浄化槽清掃整備・設置工事
浄化槽維持管理・産業廃棄物処理業・下水工事

有限会社 河内環境産業

本社 〒329-1105 宇都宮市中岡本町 3021-7 TEL 028(673)2773
事務所 〒329-1102 宇都宮市白沢 632 TEL 028(673)9694

保護者会より

TSU大田原相撲道場保護者会長

大倉 卓也

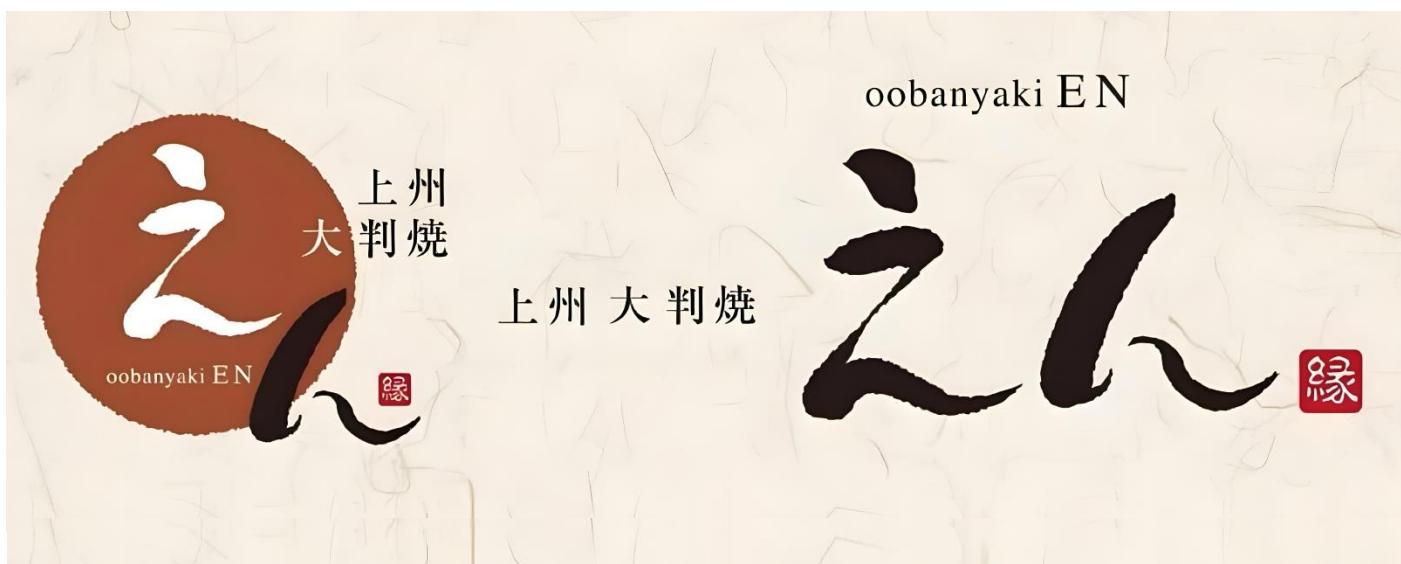
一年間、保護者会活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

この一年を振り返ると、子ども達は日々の厳しい稽古に励み、たくさんの試合を通して心も体も大きく成長したと感じております。

土俵の上で全力を出し、勝つて嬉しそうな姿も、惜しくも敗れて悔しい気持ちから涙する姿もたくさん見せてくられました。

また、ご指導くださった先生方や、TSUを支えてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

今後も、子供達が笑顔で相撲に打ち込み夢や希望を胸に前へ進んでいく姿を見守っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



令和七年度後援会

TSUは後援会の皆様の御協力のもと運営を行っております。おかげさまで多くの皆様に御賛同いただきました。御協力いただいた後援会費は選手の力となるよう有効活用させていただきます。今後とも御協力の程よろしくお願い致します。

令和七年度後援会員の皆様(口数毎五十音順敬称略)

スペシャルパートナー

有限会社河内環境産業

十口

株式会社えん

七口

有限会社ドリームファーム

五口

株式会社アイアールエステート

三口

春日野部屋栃木後援会

三口

将建

三口

鳴戸勝紀

三口

有限会社STM運輸

三口

未来株式会社

三口

鈴木愛

二口

オフィシャルスポンサー

有限会社アーバンエルシー・菊池 大史芽・楠田 祐次
有限会社ナルミヤスポーツ・人見獣医科クリニック

牧野自動車整備有限会社

計 四十八口

御入会のタイミングにより御紹介ができなかつた場合がございま
す。次号の会報にて改めて御紹介させていただきます。なお、今年度
分及び来年度も後援会員を随时募集しております。御賛同いただけ
る方は電子申請のうえ下記口座に御振込みをお願い致します。

【足利銀行 県庁内支店 普通口座55512502 一口一万円】
【ゆうちょ銀行 029支店 当座01184444 一口一万円】

A-I

野村総合研究所が二〇一五年に「日本の労働人口の約四十九%が
十五~二十年以内に人工知能やロボットによって代替可能である。」と
算出したことから、「A-Iに人間の仕事が奪われる。」と言われるよ
うになった。あれから今年でちょうど十年になるがどうだろうか。

A-Iとは人工知能のことを指し、人間が行っている「知的な活動」
をコンピューターで再現しようと/orする技術のことである。一九五〇年
代からその概念が生まれ、当初は人間がルールを与える「探索と推
論」から始まった。時代とともに進化し、現代では生成A-Iと呼ばれ
るツールが誰でも手軽に使える時代となった。生成A-Iとは文章・画
像・音声・動画・プログラミングコードなどの新しいコンテンツを自動
で作り出すA-Iのことである。TSUでもこのA-Iを活用しホームページ
の作成やこの会報の作成を行っており、外注していないため格安
で情報発信をすることが可能となっている。イベントにおいてもA-I
からアドバイスをもらいながら運営しており、本業をしながら活動
するTSUの役員の負担はかなり軽減されている。

しかし、相撲はA-Iではできない。人と人がぶつかり合い、何が起
こるか分からぬから楽しいのである。世界がどれだけ進化しよう
とも相撲の本質は変わらない。この素晴らしい伝統文化を守り抜く
使命がある。A-Iとどう向き合い、共存していくかがこれから時代
を生き抜くカギとなる。ちなみに、この文章はすべて生成A-Iが書い
たものである。気がつきましたか。

高木 飛翔

編集後記

